

## 教育長就任あいさつ

このたび、教育長に就任いたしました野村謙一です。  
昨年4月に始まりました新たな教育委員会制度におきましては、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化が求められています。



現在、本市におきましては「人が財産(たから)」の理念の下、本市教育がめざす人間像である「家族や郷土を愛し 広く世界に目を向け 自ら学び 心豊かに生きる人」の実現に向けた取組が確実に進められております。こうした基本理念は、学校教育や生涯学習の現場での取組のみによるものではなく、「人や企業に選ばれるまちづくり」に向けた、魅力ある都市形成や福祉、文化、経済、環境等の総合的な施策の展開と相まることで、実現に結びつくものと考えます。

私はこれまで、相模原市職員として、主に相模大野地区などの都市開発、局制導入を始め、市長事務部局と教育委員会事務局の垣根を超えた組織改革や行政改革、政令指定都市移行と、それに伴う区役所組織、区民会議など地域の主体性をいかす仕組みづくりなどに取り組んでまいりました。

また、南区長としては、公民館や学校などで開催される地域・スポーツ団体や児童生徒が活躍する多くのイベントについて、その活動に触れ、理解を深めてまいりました。

今般、県費負担教職員の給与負担等の移譲、学習指導要領の改正といった教育を取り巻く環境が大きく変化する中、特にいじめ問題への対応、支援教育の充実、子どもの貧困問題への取組などの大きな課題に対して、これまでの経験を礎に、市長事務部局との連携強化による組織的対応力の向上や情報共有の徹底に力を注ぎたいと考えます。

さらに、学校・社会教育現場へ足を運び、聴かせていただく声を尊重する中で、事業の効率性やプライオリティの明確化に配慮するなど、経営感覚をもった教育施策を実施してまいります。

新制度の下で、教育行政の使命をしっかりと認識するとともに、新教育長としての役割や責任の重さを自覚し、教育委員と活発な協議を行いながら、さがみはら教育のより一層の推進につながるよう、誠心誠意取り組んでまいります。

皆様の御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

教育長 野村 謙一